

新型コロナウイルス感染症拡大による生活と意識の変化について

□調査期間 令和3年3月1日～令和3年3月12日

□調査の趣旨 新型コロナウイルス感染症の拡大は、私たちの生活や社会経済活動に大きな影響を及ぼしています。そこで新型コロナウイルス感染症が男女の働き方や家庭生活、心身の状況にどのような影響を及ぼしているかお尋ねします。

□対象者数 824 人(令和3年3月1日現在)

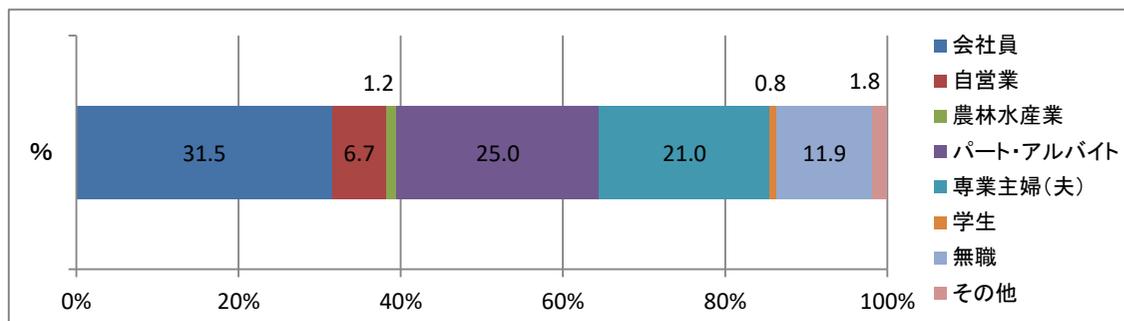
□回答者数 653 人

□回答率 79.2 %

(図および表中の比率は、少数点第2位を四捨五入して表示しています。したがって、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。)

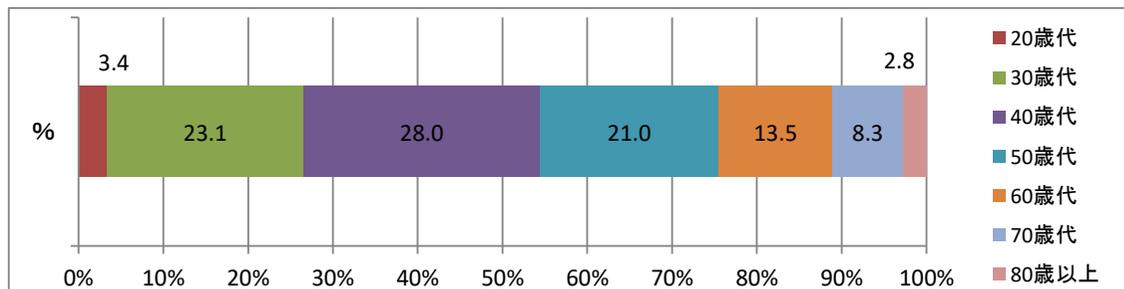
【職業】

内訳	人数	%
会社員	206	31.5
自営業	44	6.7
農林水産業	8	1.2
パート・アルバイト	163	25.0
専業主婦(夫)	137	21.0
学生	5	0.8
無職	78	11.9
その他	12	1.8
合計	653	99.9



【年齢】

内訳	人数	%
20歳代	22	3.4
30歳代	151	23.1
40歳代	183	28.0
50歳代	137	21.0
60歳代	88	13.5
70歳代	54	8.3
80歳以上	18	2.8
合計	653	100.1



【性別】

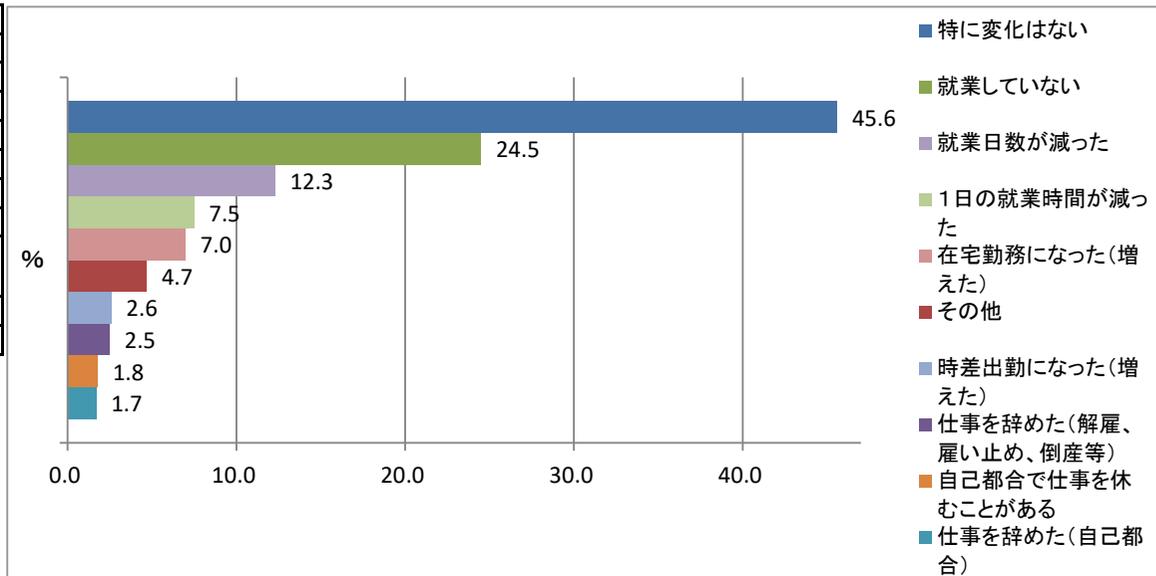
内訳	人数	%
男性	256	39.2
女性	391	59.9
無回答	6	0.9
合計	653	100.0



【問1】新型コロナウイルス感染症の影響により働き方に変化がありましたか？

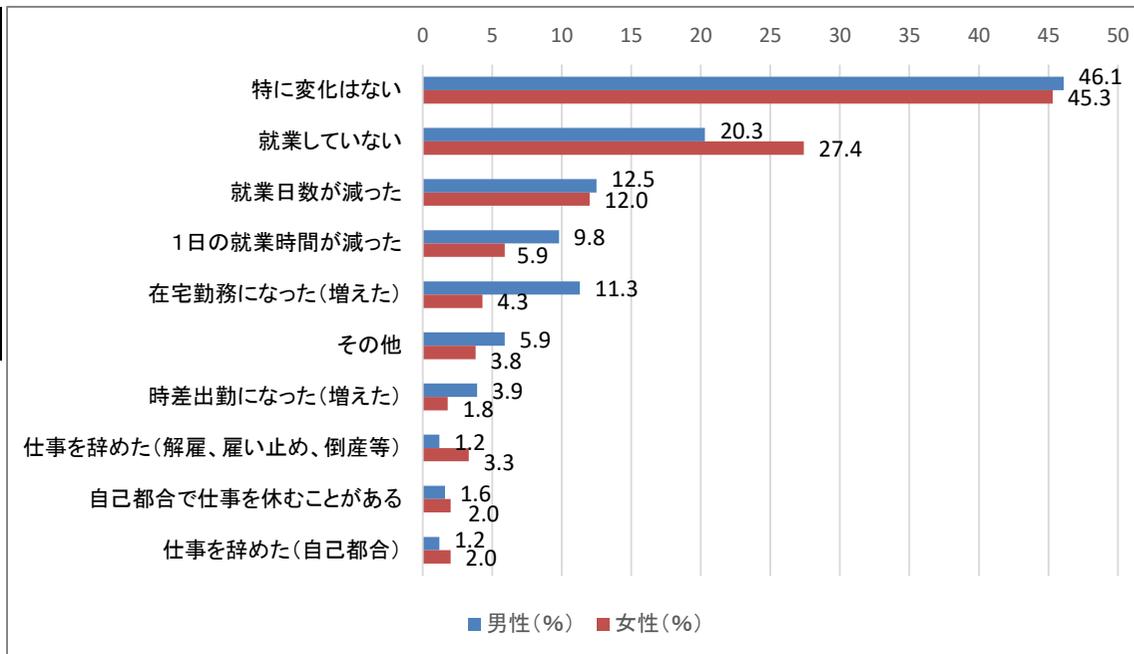
(全体)

内訳	人数	%
特に変化はない	298	45.6
就業していない	160	24.5
就業日数が減った	80	12.3
1日の就業時間が減った	49	7.5
在宅勤務になった(増えた)	46	7.0
その他	31	4.7
時差出勤になった(増えた)	17	2.6
仕事を辞めた(解雇、雇い止め、倒産等)	16	2.5
自己都合で仕事を休むことがある	12	1.8
仕事を辞めた(自己都合)	11	1.7



(男女別)

内訳	男性(%)	女性(%)
特に変化はない	46.1	45.3
就業していない	20.3	27.4
就業日数が減った	12.5	12.0
1日の就業時間が減った	9.8	5.9
在宅勤務になった(増えた)	11.3	4.3
その他	5.9	3.8
時差出勤になった(増えた)	3.9	1.8
仕事を辞めた(解雇、雇い止め、倒産等)	1.2	3.3
自己都合で仕事を休むことがある	1.6	2.0
仕事を辞めた(自己都合)	1.2	2.0



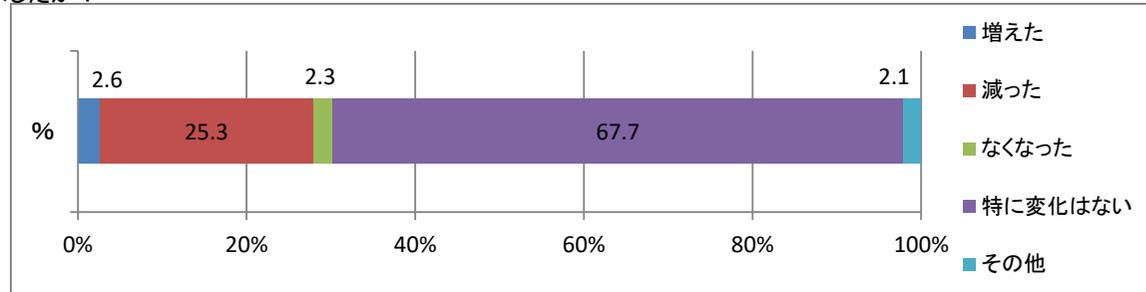
【問1-1】「その他」と回答された方は、詳しくご記入ください。

- 在宅勤務はなく、ただただ残業が増えた。
- 生活リズム全てが変わり、日常の動作等の見直しを常時考える習慣がルーティーンになった。
- 育児休業中
- 現在、去年の5月より、休職中の為答えられません。
- スタッフが休みのためその穴埋めで仕事量が増えた。
- ボランティア活動の減少。
- 自宅近くの事務所に出勤。
- 極力外部との接触を避けるようネット環境を整備、かえって効率化に役立った。
- 働きはじめた。
- 仕事の量が減少した。
- 出張がなくなった。
- 再就職した。
- 得意先でリモートになっている所が多い影響でデスクワークが多くなった。
- コロナ前より忙しい。
- 学校が一斉休業になった時には勤務が増えた。
- コロナ対策のため業務が増え忙しくなった。
- 残業時間が増えた。
- 小学校の休校に伴う欠勤があった。
- 仕事時間が増えた。
- リタイア済みなので就業面では影響がなかった。
- 無給の残業と休日出勤が激増した。
- 現役引退し年金暮らし。
- 無職なので。
- コロナ対策にあたり、仕事が増えた。
- 非常勤のコンサルタント案件が減少した。
- 仕事が増えた。
- 自分たちは出勤していても、先方がリモートになり、営業機会の損失やこちらがリモートにあわせる必要が増えた。
- 昨年の3月までは反対に仕事が増えたが、その後はいつも通りになり、8月は仕事が減った。
- 仕事量が今まで以上に増えた。
- 朝と昼の消毒以外に、来客がある度に消毒しなければならなくなった(1日平均5~6回)。休むつもりはないのに、上司から休んでくださいと言われ、やむを得ず有給休暇を取得した。
- 業務内容が増え、忙しくなった。

【問2】新型コロナウイルス感染症の影響により、あなたの収入に変化はありましたか？

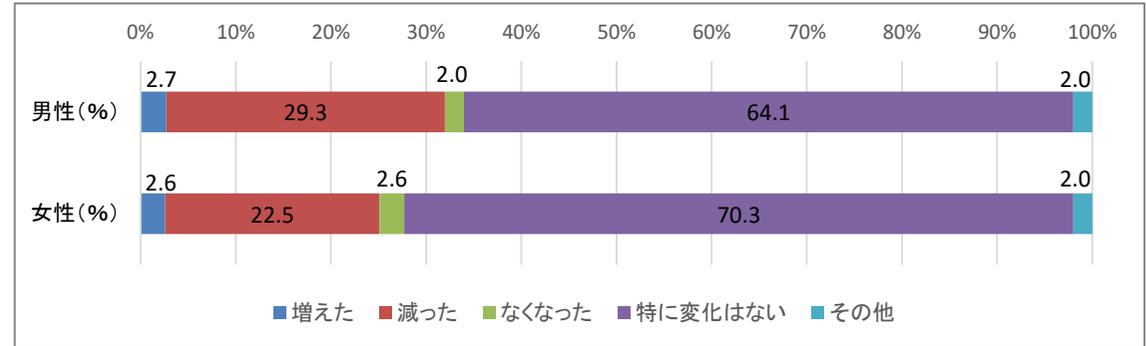
(全体)

内訳	人数	%
増えた	17	2.6
減った	165	25.3
なくなった	15	2.3
特に変化はない	442	67.7
その他	14	2.1
合計	653	100.0



(男女別)

内訳	男性 (%)	女性 (%)
増えた	2.7	2.6
減った	29.3	22.5
なくなった	2.0	2.6
特に変化はない	64.1	70.3
その他	2.0	2.0
合計	100.1	100.0



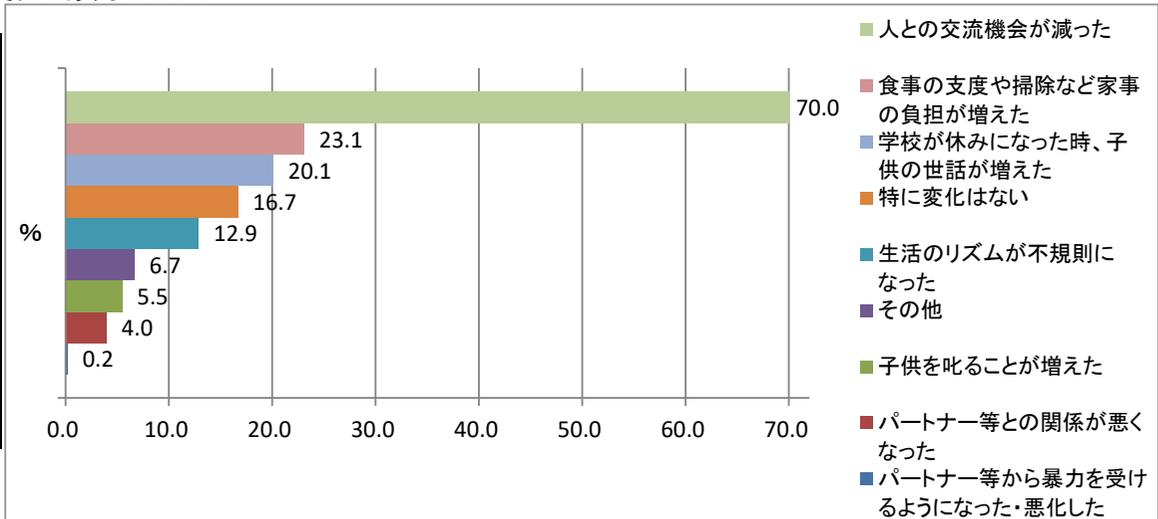
【問2-1】「その他」と回答された方は、詳しくご記入ください。

- そもそも無収入。
- 仕事していないので。
- 現在、去年の5月より、休職中の為答えられません。
- 働いていない。
- 私は働いていないので変化なしですが、世帯収入は年収で60万弱減りました。
- 収入が減った上に、学校の休みや夫の自宅待機等で食費や光熱費の出費が増えたりとかなり苦しくなっています。
- 2021年度から減少する見込み。
- 臨時的な雇用形態で来月まで契約され勤めている。
- ボーナスは減った。
- 年金生活者です。
- 年金生活なので。
- 正職員より給料が安い(手取り月10万前後)し、1年更新なのでとても不安定な身分です。契約が切れたらこれからどうなるかととても不安です。
- 就業していない。

【問3】 新型コロナウイルス感染症拡大前に比べて、あなたの生活や行動に変化はありましたか？

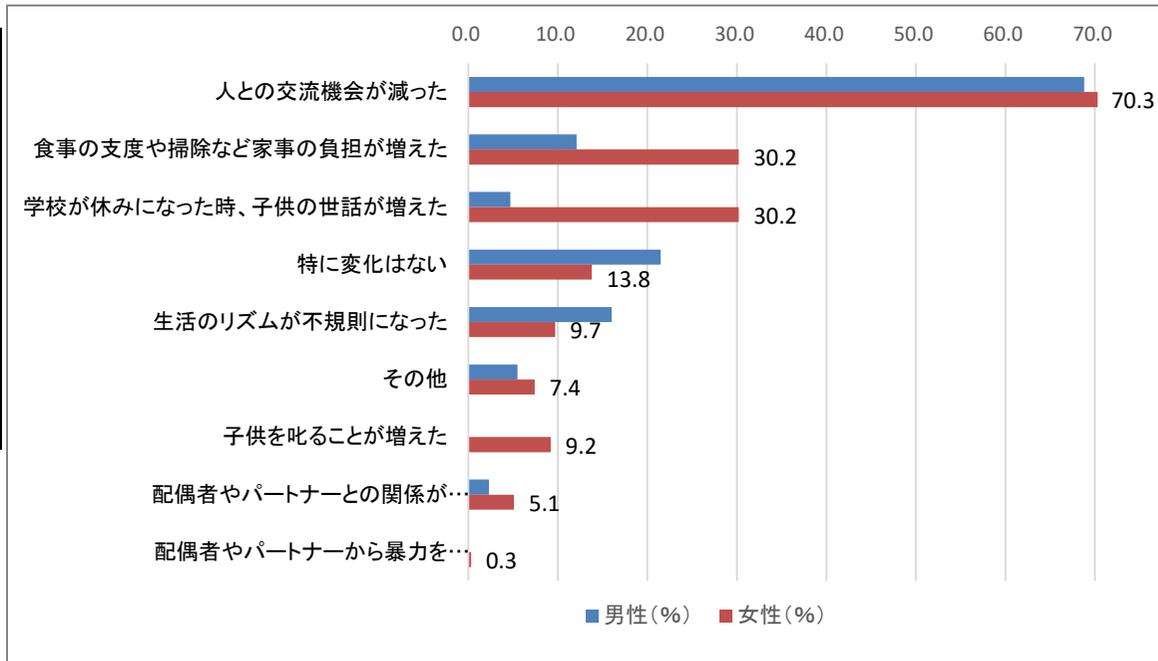
(全体)

内訳	回答数	%
人との交流機会が減った	457	70.0
食事の支度や掃除など家事の負担が増えた	151	23.1
学校が休みになった時、子供の世話が 増えた	131	20.1
特に変化はない	109	16.7
生活のリズムが不規則になった	84	12.9
その他	44	6.7
子供を叱ることが増えた	36	5.5
配偶者やパートナーとの関係が 悪くなった	26	4.0
配偶者やパートナーから暴力を 受けるようになった(悪化した)	1	0.2



(男女別)

内訳	男性(%)	女性(%)
人との交流機会が減った	68.8	70.3
食事の支度や掃除など家事の負担が増えた	12.1	30.2
学校が休みになった時、子供の世話が 増えた	4.7	30.2
特に変化はない	21.5	13.8
生活のリズムが不規則になった	16.0	9.7
その他	5.5	7.4
子供を叱ることが増えた	0.0	9.2
配偶者やパートナーとの関係が 悪くなった	2.3	5.1
配偶者やパートナーから暴力を 受けるようになった(悪化した)	0.0	0.3



【問3-1】 「その他」と回答された方は、詳しくご記入ください。

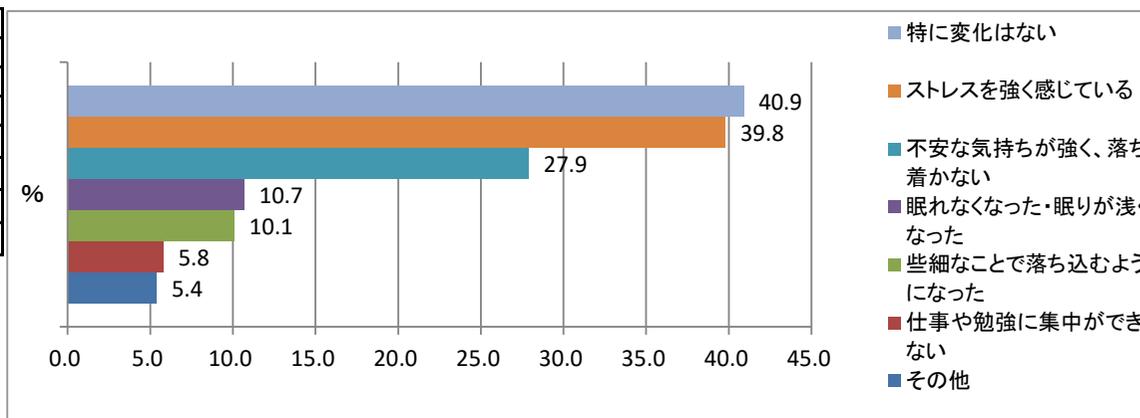
- 別に住む高齢の両親が外出を控えているため、買い物等の用事を頼まれることが増えた。
- 1、何処に行っても大阪や兵庫、京都ナンバーの車が気になるようになった。2、マスクをせず大声で話す人々に嫌悪感を抱くようになった。3、いろいろな同調圧力を感じてしまう。

- 外出の楽しみや目標がなくなったせいで、何気ないことにもやる気が出なくなった。また、人と接するのを最小限にしているため、一人で過ごす時間が増え、たまに人と話すだけですごく気を遣ったり疲れやすくなった。
- 外食やレジャーに出かけなくなった。買い物の頻度が減った。一日中家の中にいることが増えた。
- 手洗い、マスクが増えた。
- 旅行に行けない。自宅にいる事が多くなり、運動不足で筋肉量が減った。
- 夫が東京に単身赴任中で帰ってこれない。
- マスクや消毒液等が必需品になった。
- オンライン配信するようになって交流が増えた。
- 孫と会う機会が減った。手洗い回数が増えた。
- 外出頻度が激減。
- 趣味(音楽活動)ができなくなった。
- 風評被害がストレスになりました。職場でコロナ感染者が出た時は仕事以外の外出は全部キャンセルしました。周囲から見たらコロナ感染者と同じ職場に居るだけで感染者と見なされる。通勤電車に乗るだけで密、接客業だから感染してる等偏見が多い。但し、偏見が多いのは無職の高齢者に多いと感じました。社会との接点が無い為、NEWSでしか情報が入って来ない為、怯えていると思います。
- お出かけしなくなった。
- 主催するスポーツ大会を中止する事が多かった。年間8回和歌山市大会を予定していたが、3月大会を開催出来ても2回しか開催出来なかった。
- 人に当たったりは無いですが、「何処にも出掛けられない」ストレスなどを非常に感じました。
- 出掛ける機会が少なくなった。
- 子供と遊ぶ時間が増えた。
- お給料が減った。
- 買い物へ行く回数を減らさざるを得なくなった。子供と遊びに出かける場所も回数も減らすことになってしまった。
- 朝から晩まで働きつめ。
- 外出の機会が少なくなった。
- 旅行ができない。
- やりたいことをやるようにしています。悔いのない人生にしたいので。
- うがい、手洗い、除菌を行う事が物凄く増えた。
- 買い物やレジャーによく大阪や神戸に行っていたが、コロナ以降は県外へ出なくなった。
- 出歩かなくなった。飲みに行かなくなった。
- 他府県に出掛けられなくなった。県内でも出掛けるのが心配になった。
- 昨年5月頃までは生活のリズムが崩れたが、徐々に通常の生活パターンに戻せた。
- 外食や外出が減った。
- 買い物する日数が減る代わりに、消毒などの手間が増えた。
- 仕事が増えて疲れた。
- 子供が学校に行かなくなった。
- 夫が在宅勤務になり家事の負担が減った。
- 運動量が減り太った。
- 行動範囲が狭くなった。
- 外出できない。
- 外出が減った。
- パニック障害発症し、通院している。
- 外出することが減った。
- レジャー、外食等による外出の機会が殆どなくなった。
- 外食をしなくなった。
- 挨拶しても、仕事上の話以外は極力話さない・雑談を避けるような雰囲気になった。マスクで口元が見えないし、上司や同僚同士でも話にくい。昼休みでも、あまり会話が無い(部屋を消灯しているし、居眠りしたいからというのもあると思いますが)。
- 日本全国あっち、こっちへと車旅ができなくなった。

【問4】新型コロナウイルス感染症拡大前に比べて、あなたの心身に変化はありましたか？

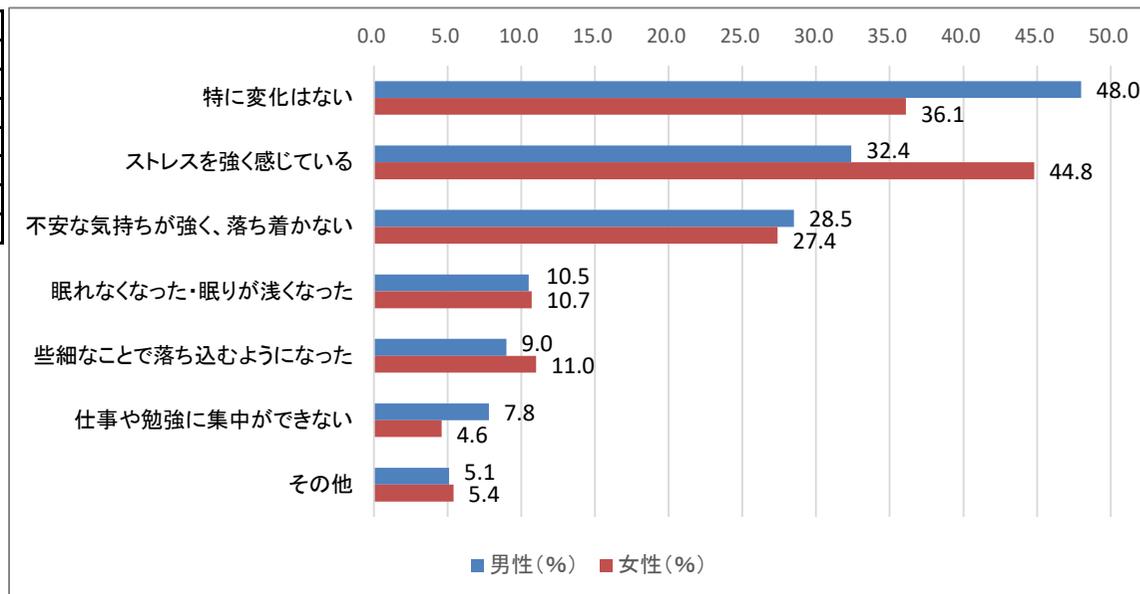
(全体)

内訳	回答数	%
特に変化はない	267	40.9
ストレスを強く感じている	260	39.8
不安な気持ちが強く、落ち着かない	182	27.9
眠れなくなった・眠りが浅くなった	70	10.7
些細なことで落ち込むようになった	66	10.1
仕事や勉強に集中ができない	38	5.8
その他	35	5.4



(男女別)

内訳	男性(%)	女性(%)
特に変化はない	48.0	36.1
ストレスを強く感じている	32.4	44.8
不安な気持ちが強く、落ち着かない	28.5	27.4
眠れなくなった・眠りが浅くなった	10.5	10.7
些細なことで落ち込むようになった	9.0	11.0
仕事や勉強に集中ができない	7.8	4.6
その他	5.1	5.4



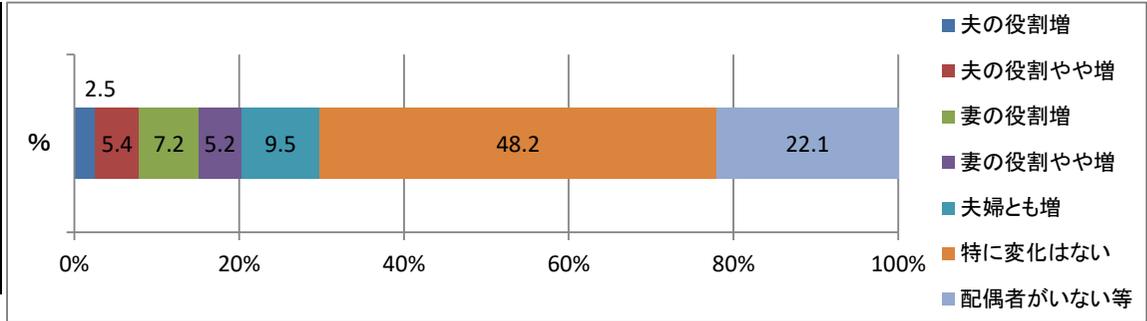
【問4-1】「その他」と回答された方は、詳しくご記入ください。

- あまり強くはないですが、漠然とした不安な気持ちと気軽に外出いけない感じがあり不自由感があります。
- 人が近づくと気になる。
- やる気が起きない。どうでもいいと思うことが増えた。
- 常にマスクを付けていないといけない煩わしさと、忘れた時の周りの目が異常に気になる事。
- 少しストレスを感じる。
- 気軽に出掛けることが出来なくなったので、少しだけストレスを感じる。
- 家族が感染しないように意識して生活するようになった。
- 肩凝り、睡眠の質が悪くなった。
- 発散しに外出できないため、ストレスの蓄積を感じる。
- 人との接点が減り、寂しく感じる。
- 仕事優先の生活をやめて、私生活、家族優先にしようと思うようになった。
- テレビでコロナのことを放送しているとイライラする。経済活動といひ出歩く人や、政府・行政への批判ばかりで気分が悪くなった。建設的な意見を取り扱う番組がなく偏った情報の垂れ流しで嫌になった。
- 何か変。
- 普段から風邪もひかないので、健康的な生活を過ごしている限り感染リスクは少ないと感じます。より健康な生活を送れるよう、早寝早起き、食事、運動に気をつけるようになった。
- 強いストレスまではいきませんが、学校行事やクラブ活動の制限が大きく、中止や無観客が多くて見る事が出来ないし、姉と同じクラブなのに、同じような経験を出来ないのが可哀想で。考えても仕方ないとは言え、どうにかならないのかと日々モヤモヤした気分です。
- 和歌山市大会を開催出来るかどうか常に感染状況を 確認せねばならず、開催希望者との調整に心身が疲弊した。
- 頭痛になった。
- 感染したら周りに迷惑をかけるのではないかと思っています。
- 人との交流が減ったので寂しいと思う一方、一人だけの時間が増えたことで読書をするなどのメリットもあるので、できるだけ前向きに考えるようにしている。
- 以前からインターネットやSNSでの仕事活用を推進していたので一気に進んだので反対に良かった。
- 訪問の仕事をしているので、絶対に自分はコロナにかかったらダメだというストレス。
- 仕事が忙しすぎてストレス解消できない。食べに行けない。飲みに行けない。金が余って仕方がない。
- 漠然とした不安が続いている。
- 物の見方、感じ方が変わりました。
- マスクにより息苦しさを感じる時がある。
- 運動不足になり体重が増えた。
- マスクをしない周囲の他人に対してイライラがつのった。
- 子供の不登校でストレス。
- 県外に全く行ってないのですが、遊べる場所がないので少しストレスを感じている。
- 仕事に行けなくなって、コロナ感染を恐れて外出する機会も減り、身体的に健康と感ずることがなくなった。
- 県外に住む姉妹との仲が微妙になり複雑な気持ち。普段なら宿泊・食事でも良かったが、今はお断りしています。
- 仕事の手順や手間が増えたり、客の目が気になってストレスを大変感じる。マスクももう嫌だ。苦しい。
- 常に感染への怖さがある。
- 外に出る事が出来ない。市民温水プールに行きたいが、感染が怖くて行けない。
- 特に変化はないが、夜遅く寝た日の翌日は少々だるさを感じます。

【問5】新型コロナウイルス感染症拡大前に比べて、夫婦間の家事・育児・介護の役割分担に変化はありましたか？

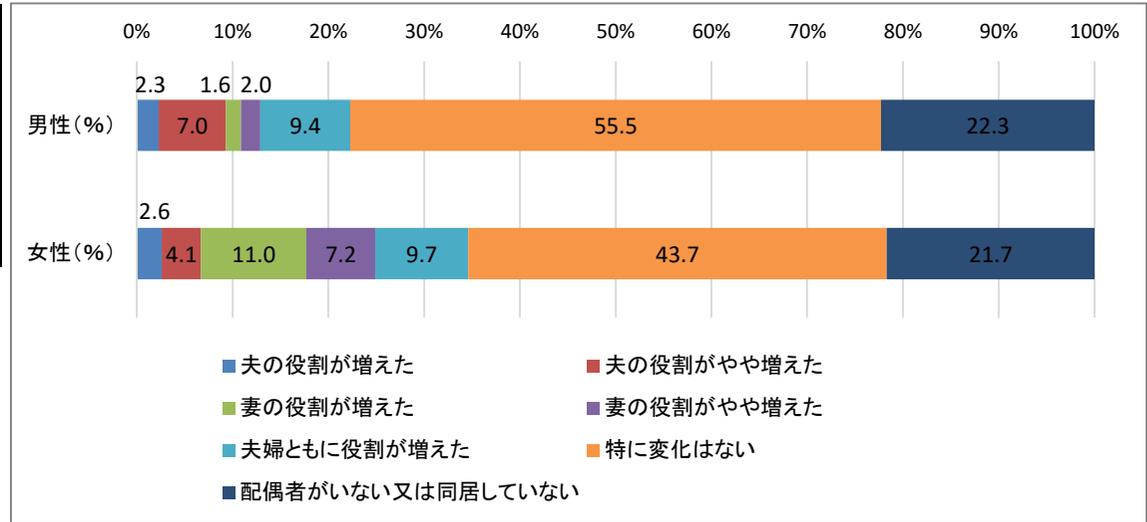
(全体)

内訳	人数	%
夫の役割が増えた	16	2.5
夫の役割がやや増えた	35	5.4
妻の役割が増えた	47	7.2
妻の役割がやや増えた	34	5.2
夫婦ともに役割が増えた	62	9.5
特に変化はない	315	48.2
配偶者がいない又は同居していない	144	22.1
合計	653	100.1



(男女別)

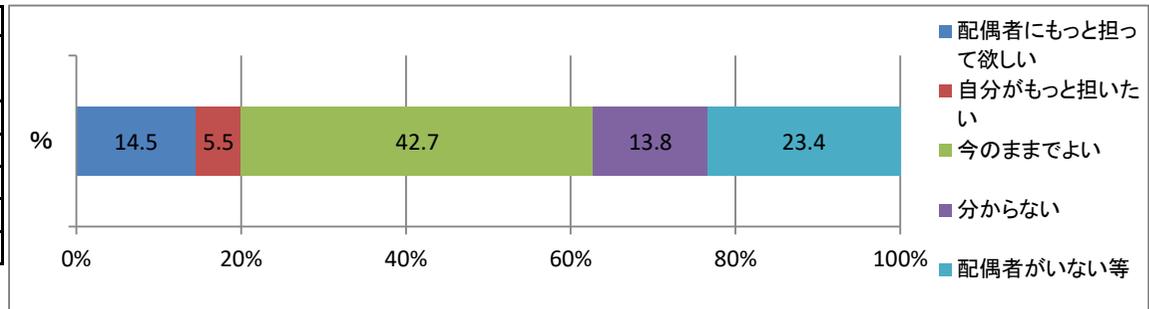
内訳	男性(%)	女性(%)
夫の役割が増えた	2.3	2.6
夫の役割がやや増えた	7.0	4.1
妻の役割が増えた	1.6	11.0
妻の役割がやや増えた	2.0	7.2
夫婦ともに役割が増えた	9.4	9.7
特に変化はない	55.5	43.7
配偶者がいない又は同居していない	22.3	21.7
合計	100.1	100.0



【問6】新型コロナウイルス感染症拡大前に比べて、夫婦間の家事・育児・介護の役割分担を今後どうしていきたいですか？

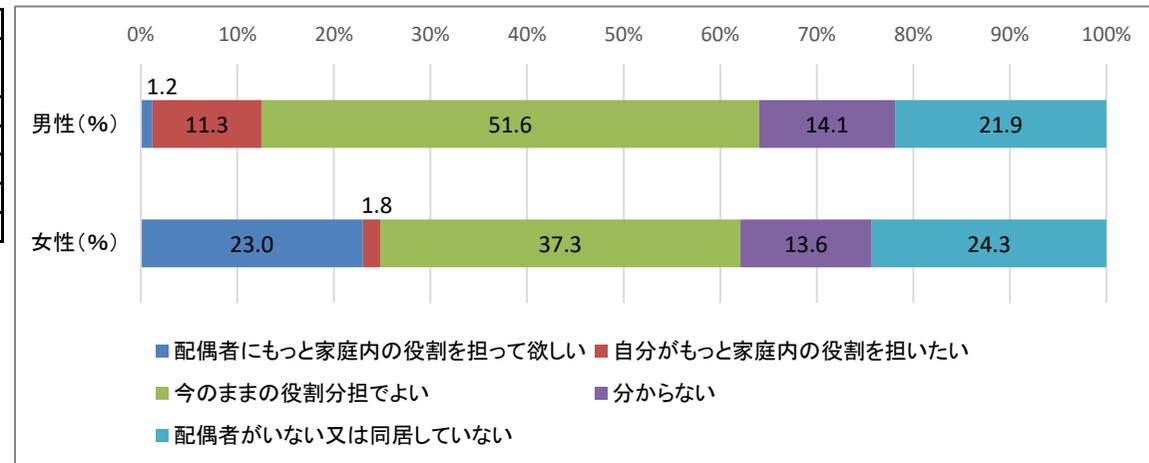
(全体)

内訳	人数	%
配偶者にもっと家庭内の役割を担って欲しい	95	14.5
自分にもっと家庭内の役割を担いたい	36	5.5
今のままの役割分担でよい	279	42.7
分からない	90	13.8
配偶者がいない又は同居していない	153	23.4
合計	653	99.9



(男女別)

内訳	男性(%)	女性(%)
配偶者にもっと家庭内の役割を担って欲しい	1.2	23.0
自分にもっと家庭内の役割を担いたい	11.3	1.8
今のままの役割分担でよい	51.6	37.3
分からない	14.1	13.6
配偶者がいない又は同居していない	21.9	24.3
合計	100.1	100.0



【問7】新型コロナウイルス感染症の影響で、働き方や家庭生活において良い変化がありましたら、ご記入ください。(該当者191人)

- 自分のことではないですが、在宅勤務やリモートの可能性が広がり和歌山の田舎でも若い人が仕事ができ移住できる環境ができるかもしれないのはとても良い変化だと思います。
- 手洗い、うがい、マスクのおかげで風邪をひくことがなくなり、インフルエンザもほとんど聞かなくなったので、この習慣は続けていければと思います。
- 夫婦共に忙しくなり、テイクアウトが増えた。
- 良く手を洗うようになり、医療費が安くなった気がするとともに、自分の生活全般を合理的に見直すようになった。
- オンライン化により、移動時間がなくなり時間に余裕ができた。
- 出来なくなったことをどうこう言うのではなく、今できる範囲でできることを楽しもうというスタンスで過ごしている。考え方を換えれば、家族関係は変わりなく良い関係で過ごせる。
- マスクに対する世間のイメージが良くなった。しょっちゅう子供と公園で遊ぶようになったおかげで筋肉がついた。
- 家の中の環境をよくしようと夫婦で相談し合い、居間の絨毯を高価だが購入した。同様に、テレビと高性能炊飯器を買い替え、コロナ渦で自宅にいる時間や快適性の向上に対しお金を使った。よい買い物だと納得している。
- 出かける場数が少なくなったので、出費が減った分、全国各地のお取り寄せで美味しいものを食べるようになった。会話も増え、自宅でする新たな趣味を探し共有することにより良好な関係を継続できていると思う。
- 夫の在宅ワークで、会社でしている仕事の内容や、どんな方たちと仕事をしているのか知れて新しい発見があり、また在宅ワークで家にいる事が多くなったとき家事も担ってくれて、夫に対する見方がいい方向に変わりました。
- 必然と家で家族と過ごす時間が増えて、家族がいると言う当たり前の事、日常見過ぎていた幸せを再認識出来た。
- 子供たちと向き合えた。ひとつのことを一緒に出来た。
- 外に行く機会が減ったので配偶者との会話の時間が増えた。
- 休みの日に家族で自転車を利用し、近場の公園等を利用する機会が増えた。車で遠出していた時より移動時間が減り、子供と一緒に何かをするということが増えたような気がしますし、地元の良いさを再認識出来た。
- 無駄な習慣がなくなった。必要でない用事や人との打ち合わせなど簡素化された。無駄なランチや外食が減ったので、健康になった。
- 夫が会社方針で早く帰ってくるようになり、家族皆で晩ごはんという日もたまにできるようになった。
- 会議やセミナー等、対面からオンラインに切り替わったものが多いので、参加しやすくなった。
- コロナの影響か、風邪やインフルエンザには罹患していない
- 三密回避もあり職場の就業時刻が3パターンになり、選べるようになった。自分は以前通りを選択したが、選択肢が増えるのは良いと思う。
- 常に体調に気をつけるようになったこと。
- 家族との食事、時間が多くとれるようになり、今まで以上に関係が良好になった。
- 通勤時間が無くなり、働きながらジムでリフレッシュ出来る様になった。
- 免疫力を高めるため、早寝早起きの習慣がついた。
- 在宅勤務が導入できるようになり、通勤時間を減らすことができた。お陰で勤務時間の削減、家族と会話する時間が増えた。
- 大阪での外食が減り、小遣の無駄遣いがなくなった。
- 家族との時間が増えた。
- 断捨離できた。
- 外出時には必ずマスクをするので風邪を引かなくなりました。
- 家で過ごせるように子供に絵本を読むことが多くなった。
- 去年、家族が増えた。夫の飲み会が減った。夫の家にいる時間が増え、乳児の面倒を見てくれるまでは行かなくても、気持ち的に助かった。外からコロナ持ち込まれたら、娘が小学校から持ち帰ったらか気にしすぎる時もあったけど、成るようにしか成らないという諦めたというか、まだ何か変だけでわからないけど、とりあえず助かりました。
- 「在宅可」の仕事がいくらか増えた気がする。
- コロナウィルスとは関係なく、家事育児の分担は必要だと思います。見直す良い機会だと思い、いろんなことに向き合っています。
- 家族と会話する時間が増えて絆が深まった事は良かったと思う。
- 無駄な付き合いがなくなった。
- テレワーク普及など、社会の無駄が省ける機会になったのではないのでしょうか？ オンライン授業などの取り組みは学校に通えない子供さんにも良い事にも思えます。メンタル的な問題も経済的な問題も負担が少ないように思います。収束後もオンライン参加と混合するなど検討の余地はあると思います。デリバリーサービスなども良い所だけはそのまま続けてほしいサービスも多数あると思います。

- 毎週、飲み歩いてきた夫がステイホームしてるので身体に良い気がする。
- マスクのおかげで風邪をひかないように。
- 山へ行ったり、自然にふれることが多くなった。
- 換気をよくしたり、食事面、健康面で、より気をつけるようになりました。
- 仕事のオンラインでの研修が増え、研修会に参加のための出張がなくなったり、効率化のためにネット環境の整備が進んだ。
- 正社員はリモートワークなど、ある程度の保証や柔軟性があるが、パートは特に変わらない。
- 忘年会などの会食が減ってよかった。
- 子供との会話が少し増えたと思います。
- 不要不急の外出自粛で支出が減った。
- 習い事でも、オンラインの活用が進んだ。習い事の移動時間がいらなくなり、家族の交流時間は増えた。
- 手洗いが増えた。
- 無駄に出歩かず金銭消費が減った分、余裕が出来た。
- 自宅でゆっくりと過ごすことが多くなった。
- 規則的な睡眠と食事や運動を尚一層心がけるようになった。
- 日々マスクをし、マスクをする人がほとんどで、この冬は風邪をひかなかった。
- 家族でゆっくり過ごす時間が増えてよかったです。
- インフルエンザに罹らなくなった。
- 時間が増えたので読書をするなど自分磨きのことを考える時間が増えたと前向きにとらえている。
- 在宅ワークできる職場環境を整えてもらうことができた。仕事付き合いのための飲み会などがなくなり、夫が早く帰ってくるようになった。
- 周りの器具(公共施設等)が衛生的になった。
- 退職を余儀なくされたが、より条件が良いところへ再就職できた。家族で過ごす時間が増えた。
- 高齢者施設で働いているので、集団感染が起きない様に感染予防に気をつけて働く様になっている。
- 近所の交流が少なくなった。
- 自分の体調を気遣うようになった。また、コロナ禍の中、働かなくてはいけないすべての人々に対して声をかけることが出来る時は、心からありがとうお疲れ様と伝え、人にやさしく接することが実行できるようになった。
- 郵便での取引きや振り込みが多くなった。
- 今まで以上にお互いの体調を気遣い合うようになった。遠出しなくても近場の公園などで家族で遊ぶ機会が増えた。
- しっかりと手洗い・うがいをするようになり、習慣づけが出来てよかったです。
- 外出が減った分以前より良く話をするようになった。
- 家族との会話が增えた。
- 夫が進んで何か手伝いは無いかと、聞いてくれるようになった。
- コロナであろうとなかろうと、お互いの役割を思いやりもって行うこと。
- マスクを常時付けるようになり、花粉等に悩まされなくなった。
- 無駄な会議や出張が減った。付き合いの飲み会がなくなった。今まで参加できなかった研修などにリモートで参加できるようになった。
- 家庭内での作業の分担が増えたが問題なく過ごしています。
- 必要でない皆との会食がなくなって、出費が減る。
- 配偶者が在宅勤務になり家にいる時間が増えたので、家事や子供の世話を手伝ってもらえるようになった。
- 夫婦での話が増えた。
- 子供が手洗いを率先してするようになった。
- 家族との時間が増えた。
- 子供と向き合う時間が増えた。
- 子供と過ごす時間が増えた。
- 手洗いや消毒をよくするようになった。

- まめに拭き掃除をするので、花粉症はましになったと思う。手洗いうがいをきっちりするので風邪をひかなくなったと思う。
- 家庭内における行事を省略することができて良かった(金銭面でも助かった)。
- 出歩かなくなったので、お金をあまり使わない。
- お金を使うことが少なくなった。
- これからのことを考える良い機会になった。
- 通勤時間が減った分、睡眠時間や趣味に割ける時間が増えた。家族と過ごす時間が増えた。
- 出かける機会が減り、ゆっくりする時間が増えた。
- 外食が減った分、家での調理が増えた。家族で楽しむ料理の機会が増えた。
- 出かける機会が減った代わりに、家でゆっくりと夫婦で話し合ったりする機会が増えて、お互いの考えがより理解できるようになった。
- 昨年新入社員だった息子は5月末まで自宅待機。大学生の娘は下宿を引き払い、自宅でオンライン授業を視聴。久々に家族全員が長期的に揃い、和気あいあいと過ごしていました。
- 在宅が増えて、趣味を増やしたり家族会話が増えた。
- 子供と話す機会が増えた。
- 夫の家事参加やPTA活動への参加(登校見守り等)が増えた。ただ以前からやっていないので何をどうやれば良いのか全く分からない様子で妻(共働きフルタイム勤務も今まで学校関連全て担当)が一から教える必要があった。生まれたときからこの状況であれば夫の育児参加ももっと(良い方向に)違ったものになっていたのではないかと残念に思う。
- 週1~2回のペースで在宅勤務となり、通勤時間が減り、仕事の合間に家事をすることもでき、日常生活にゆとりができた。
- 仕事面では、いかに時間に関して無駄を省くかという視点が強くなった。家庭では、家族内で家事の負担分配に関心が向いた。
- 会話が増えた。
- 子供と一緒に過ごすことが増えて絆が深まった。
- いらぬ飲み会付き合いや無駄な外出など減らせてありがたい。
- 手洗い、うがいをする頻度が上がった。
- 和歌山は、コロナが拡大しないことは良いことだと、関係者の方々の努力に感謝申し上げます。しかし、別の見方をすると経済の活性は他県との交流があってこそ活性化がなされる。それがなされてないのでコロナ拡大しなかったとも思われるので、コロナに関しては良かったのではないのでしょうか？
- 慎ましい生活を維持すれば、年金暮らしの有難味を痛感する昨今です。
- 夫婦間の会話が増えたことは良い変化。しかし不安や将来の生活についての問題ばかり話している。
- 夫のスポーツの遠征がなくなり、休日に家にいる時間が増えた。そのおかげで子供と沢山遊べた。
- 趣味の会をメンバー8名で話し合い、1月14日から自主的に1カ月中止したが、コロナへの関心が余計高まり、予防策がよくとれた。
- 小さい子供と家にいることが多くなり、より関わって遊ぶことが増えた。
- 朝起きる時に一日の計画を立てる。一日一つ何かする様に、買い物を計画的にするようになった。
- 自宅にいる時間が増え、子供との会話が増えた。
- 手洗いうがいを徹底する事で、普段の冬なら風邪を引いて受診することが数回あるが、今冬は風邪を引かず、病院を受診せずに済んだ。
- 夫の会社では不可能と思われた時差通勤、在宅勤務等、働き方の選択肢が一気に広がった点は良かったと思います。
- 夫の会社での不要な飲み会が減って家で過ごすことが多くなり、子供と触れ合える時間が増えたのでよかった。
- 家族全員コロナによって仕事が無くなる事はなく、むしろ忙しくなったので、お互いが家族の体調や仕事を気遣い良い関係を築いています。
- 働き方は特に変わっていませんが、家庭生活は外出が減った。
- 子供と夫が過ごす時間が増えた。
- 4月の緊急事態宣言で、高校大学の子と過ごす時間がたくさんとれた。このような事がなければ、取れなかった貴重な時間と思っている。
- 緊急事態宣言中は時々在宅勤務になりました。運輸職なので自宅待機はする事がなく、時間がきたら職場に電話するだけです。する事が無いので良いですが、この時間の給料がもったいないような感じです。
- 私自体は専業主婦なので人とかかわりが減って気を付けているが、夫は職場に行くので帰ってきたらうがい手洗いをきちんとしてもらい、家庭内での感染が少ない様に心がけて貰っています。私が基礎疾患があるので。
- フルタイムで働いているのでなかなか家事をゆっくりできなかったが、自宅待機の日ができたのでその分家事をゆとりもってできるようになった。少ない勤務日に仕事を詰め込むので効率を考えて働くようになった。
- 家で食事することが多くなった。

- 子供と過ごす時間が増えた。
- 全国に比べ和歌山県は有難いことに、影響は比較的少なく、普段とあまり変わらない生活を送れています。
- 風邪などへの対策、災害などへの安全対策も気をつけるようになった。
- 夫婦間のコミュニケーションをしっかりと、様々なメディアから情報を収集し、どんな情報についても自分で考え、しっかりと自分の気持ちを強くもつ事が大事だと思う。
- 手洗いうがいに気を配って衛生面に気をつかうようになった。
- どちらかというと無頓着な方なのですが、少しは衛生面に気を付けるようになった。
- 店の営業時間の短縮などで家で過ごす時間が増えて、家の掃除をしています。いらぬものを捨てたり、フリーマーケットアプリで売ったりして家の中がすっきりしてきました。
- 夫の休業日が増えたので家で子供の面倒をみてくれる。
- 清潔さを意識する様になった。
- 夫の副業が減ったので、料理の腕が上がった。
- 仕事面ではオンライン化が進んだ。生活においては日々の衛生面で意識が高くなった。
- 気が進まない飲み会や集まりが無くなりストレスが軽減した。
- 週末はいつも外食していたが最近は全然行かなくなって、テイクアウトか家で作るようになった。結果、栄養のバランスはとれて出費も少なくなった。
- 出かける機会が減ったため、自宅で家族と話す時間は増えたように感じる。
- 夫の休みが増えて料理をしてくれるようになり助かっています。
- 夫婦間の会話が多くなって明るくなった。
- まめに手洗いうがいをするようになった。
- 娘が自発的に家事をするようになった。
- 家族一緒に居る時間が増え、衝突も多少はありますが、精神面の関係性が深まりました。
- 外食の機会が減少し、家で食事の重要性を重視するようになった。
- 夫が在宅勤務になり、子供との時間が増えたため、子供への関わりにゆとりができた。出勤時間が減るために、十分な睡眠が取れる。外食が減り、家計の負担が減った事と、栄養バランスがよい食事になった。
- ペットとの時間が増えた。
- 常に除菌をするという変化。
- 家庭外にてマスク装着が常となり、インフルエンザ予防が例年より良くなった。
- 体調の具合などの理由で気軽に在宅勤務できるようになった。コロナが終息しても続いて欲しい。
- 長年働いていた飲食店が閉店してしまい違う職場に変わったが、そちらのほうが自分にとっていい条件だったのでよかった。
- 働き方を考えるいい機会にはなった気がする。
- 微熱や、軽い風邪症状でさえも学校など欠席しないといけない雰囲気なので、ちょっとしたことで仕事を休むようになった。職場は比較的許容してくれやすいところですが、他の人はそんなこともないようなので、生活が変化したことには変わりはないです。
- 常にマスク、手洗いうがいエチケットなど子供に教えられて習慣づけられるようになって良かったと思います。
- 国内外の政治家らの記者会見で手話通訳が付くのが当たり前になったので、聴者も手話を覚えて使おうという雰囲気が出てきた。これを読んでいるあなた・未だに手話を覚えようとなし・聞こえない人(聴覚障害者、ろう、軽～高度難聴、盲ろう、中途失聴、老人難聴)と話したがる聴者も、もういい加減に積極的に手話を覚えて耳が聞こえない人と話したり一緒に仕事したりして交流しましょう！どこかの小学校では聴者同士でも手話を使って話しているそうです。小学生の方が進んでいますよ。念のため、聞こえない人といっても、聴力や育った環境・価値観などが違いますので、手話があった方がいい人もいれば、筆談や文字入力の方がいい人や相手の口元を見て読み取る人(口の形は人によって読み取りやすさが違いますので、読み取れない時があるし、どうしても読み取れない人もいますが)、相手や状況に応じて手話や筆談・文字入力・口話or読話(口元を読み取ること)を使い分けている人もいます。
- 外食が減り家で食事が多くなった。反面飲食業にはかなり打撃だ。
- 手洗い、うがいが習慣化したこと。
- コロナ禍により、なんとなく家庭で過ごし、外に出る時も不安を抱えながらなので落ち着かないですが、電話やインターネットでのコミュニケーションが多くなりカバーしています。
- 手洗い、消毒が徹底するようになった。
- オンラインツールをもっと活用しようとの風潮が出たことで、働き方や家庭の運営も効率化ができるようになりました。
- 断る言い訳にできる。

- 自宅にずっといたころ、家族で過ごす時間が増え、毎日家族で朝から海に散歩にいったりしていた。あの頃は子供を公園にも連れて行けず苦痛だったが、今思えばとても貴重な時間だったなと思う。

【問8】新型コロナウイルス感染症による男女の働き方や家庭生活などへの影響に関するご意見などありましたら、ご記入ください。

- コロナのせいで買い物ひとつ行きにくい家庭生活になりとても不便です。
- 若い世帯が自由に子育てもできて仕事もできる企業を誘致することや環境を整えてアピールする良い機会ですので、和歌山の発展のためにもよろしく願いいたします。
- 夫が家にいる時間が増えたのにもかかわらず家事を全くしなかったので、職場でも男でも家事をしたりすることを促してもいものではと思いました。テレビなどで聞くより身近なところから言われる方がしそうな気がします。
- 男女間の差は感じられないが孤立に慣れつつある気がする。
- 職場が倒産ではないがコロナの影響で閉めてしまい無職だが、次仕事に行くモチベーションが保てない。
- リモートワークが対応できる職種と対応困難な職種があり、働く人の個々の事情は尊重されるべきと思う。政府や都道府県が主導するように外出をコントロールできるものだろうか疑問に思う。
- 私は働いていないので憶測なのですが、もし私も働いていたらやはり、仕事と家事の負担はすごく大きいものになっていたかもしれません。このコロナ禍で、どこにも行けない事や家族以外の方たちとの交流も出来なくて落ち込む日が増えました。コロナ前と今の気分の差がものすごいです。
- 別居別世帯の子供が収入が減り借金をして肩代わりした。自分では無く回りに影響があるとこちらの生活にも影響が出る。
- コロナ対策によって、影響があるところとないところの差がありすぎるように思う。
- 正社員じゃない女性などは弱い。このようなことがあってもしっかりと雇用してくれるようにしてほしい。
- コロナウイルス感染症が流行ってしまい不便を感じたり残念な事もありましたが、できないことばかり考えていても仕方がない。今までの生活や考え方を変化させ対応していく力が必要だと思えるようになりました。
- とにかく手を洗うことが通常になり、それとともに風邪はひかなくなった。が、水道代も上がっている。
- 特にこの春の緊急事態宣言下における保育園の登園自粛期間は、夫婦ともに会社もリモートワーク/休暇にもならず、かと言って、和歌山市と所属の園から文面での自粛要請をされたため、交代で有給を取りながら家で仕事をしつつ、外や公園にも出かけられず、育児も精神的にもかなり辛かった。最近では、3密やマスク着用、アルコール消毒等の対処法が分かったため、人混みを避けつつ外出できるようになったため昨今の今頃と比べるとかなり精神的には楽になった。
- リモートワーク等自宅にいる時間が増えるなら、比例して家事は増えるもの。気持ちの良い役割分担が大事だと思う。職場であれ自宅であれ、他者に対する思いやりと感謝は必要不可欠です。
- 今の時代にあった生活をしていかなければならないと思います。
- ネガティブな選択肢しかないのはなぜでしょうか？
- 配偶者の働き方が変わり、家に居る時間が増えたので、私自身の体調が悪くなった。体調が悪く横になっていても、用事を言われるので、余計にストレスを感じる。この状態が去年の夏前から続いているので、私の身体も限界にきている。
- リモートワークや時差出勤、有給休暇や男性の育児休暇などの積極的な取得が当たり前になり、もっとゆとりのある生活になればいいと思う。
- 家事の負担、食費の増加、辛い。
- 在宅勤務を可能な限り増やせるよう、行政の支援策を拡充してもらいたい。
- このような時期(緊急事態宣言の発出や巣ごもりの奨励等)は減多にないので、この時期にこそ行政はリーダーシップをとって市民に無料の通信教育やオンライン学習(教育)等市民レベル向上活動を実施すればと思う。
- 残業が減ったので収入が減った。
- 和歌山市役所の発注業務を行っているが、リモート打合せに対応していないので困る。和歌山市役所のデジタル化も全然進んでいないのでコロナ禍の中、無駄なアナログ作業を強いられていて困る。和歌山市役所には無駄なことをなくしていくという考えは存在しないように思えて情けない。
- 夫婦、親子だけに限らず皆なにかしらの負担を強いられていると思います。疲れも不安も溜まっていくけど、今回ばかりはどうにもならない、仕方がないと思えます。早く落ち着いて欲しい。それだけです
- 新型コロナウイルスによってリモートワークの浸透など、より時代の変化が顕著になったと思います。男女の役割分担なども、よりあるべき姿に近づくよう、コロナ対策をうまくコントロールしていくべきだと思います。

- 在宅ワークや、時間差出勤など都会では行われているのかもしれませんが、和歌山だと感染拡大もそこまで大きくないし、実際に在宅ワークが行われているかというたとぶん現実的ではない気がします。
- 旅行や外食も出来ず、友達も会えずでストレスがたまり、夫婦二人の生活時間が長くなり喧嘩が増えた。
- 夫は県外通勤の為、家庭での役割を負担してもらいのかかわりそうで、その分私の負担が増えてしまい、いつもよりピリピリしまいがちです。とにかく、生活をスムーズにおくれる様にと誰かが我慢するしかないのでしょうか？とても生活が辛くしんどいです。みなさんどうなんですか？
- 配偶者がリモートになったからといって、家事をしてもらえることもないしそれを希望していない。
- 人権啓発的な会話ができるよう、何かきっかけがあればいいなと思います。
- 男女問わず家事の助け合いとか若い世代には必要かもしれません。高齢者へのヘルプも要介護の方だけではなく、より配慮が必要だと思います。病院にも通院できず我慢されている方、一人暮らしの方への配慮など。
- 家族の問題が浮き彫りになった。夫婦仲がより一層悪くなった。
- 早く安心して暮らせる様にしてほしい。
- 高齢になると少しの時間も無駄にしたいくない。若い人や行動範囲の広い人は自分が感染すれば他人にも迷惑を掛ける恐れがある事を自覚し行動して欲しい。
- 家事割合が多くなった。
- 女性の自殺の増加。
- 変わらない。
- 家族が出かけず、自宅にいる時間が長くなりました。お腹がすいたと冷蔵庫をあけたりお菓子をいつもより食べたりしました。3食作りながら栄養バランスを考えて献立や家事労働に疲れて寝込みました。
- 早くワクチン接種が広まってほしい。
- 新型コロナのために職を失ったり、収入が減ったりした人には本当に気の毒に思うが、この際自分の生き方を見直し、苦難の中に真実があることを再認識し今までにない考え方をするチャンスととらえてほしい。
- 娘が感染が怖くてアルバイトに行かなくなった。
- 元の生活に戻れるの？
- い。
- 収束を待つのみ。
- 女性の家事や育児の負担が増えている。男性に家事育児への負担や役割分担を担ってもらうには行政、企業からの積極的な支援がないとほぼ不可能。
- 新型コロナウイルスが収束してもテレワークなどがいったん普及してしまったので、変化に対応した働き方や家庭生活に馴染んでいくしかないと思います。
- 殺菌、消毒、手洗いなど、清潔全般に関する維持費がかなりいりました。マスクなど、必須なものは、夫も自ら購入してきてくれたので、やはりいつ何ときも、互いに協力することが大事だと改めて思いました。
- コロナの影響で仕事が減ると言うこともないですが、自分と家族がコロナにかからないようにするための対策のせいでイライラする事が増えた。
- パートは女性が中心だから男性で60代を過ぎると難しいな。
- 家族内での話し合いが重要だと思います。
- 同世代の対面の会話、親族間の対面会話がなくなってしまった。このままでは味気ない社会になる。人間関係がギスギスしてしまうのは耐えられないんじゃないかと思う。
- 在宅勤務が増えると勤務時間が長くなったり、勤務時間外にもメールをチェックするなど仕事をする時間が増えたので、子供の夕食時間が遅くなるなど子供の生活には影響が出ている。
- 自分の仕事にはほぼ影響はありませんが、大学生の子供のオンライン授業がいつまで続くのか気になります。
- 週末も家にいることが増えて、光熱費が上がった。在宅勤務が増えたことにより食事の用意の負担が増えた。
- 別に住む家族や近所との関係・コミュニティーがコロナによってさらに気薄になっている。インフルエンザのように予防接種が一般的に広まり以前の生活様式に早く戻れるよう行政・自治体の方よろしく願っています。
- 新型コロナに関係なく、男女格差がまだ根強いと思います。小さいころから家事分担をする練習をすることで次世代は格差がなくなることを願います。
- テレワークを推進していますが、会社内の人間関係が希薄になるように思います。
- 家族全員協力しないといけないなと思います。
- 配偶者のリモートワークや、子供の学校が閉鎖など負担の増えた女性が多かったのではと思います。
- 自分で出かけることが激減した。
- 男女の役割に固執せず、相互扶助の精神で、出来る人が進んで家事をする、1つのきっかけにはなりました。

- 母と二人暮らしですが、心臓の持病を持つ母が移らないようにと毎日ヒヤヒヤしています。そんな母の介護をしながら働くとなると自分の都合に合わせた派遣が良く登録したくとも探せど面接が大阪で面接すら行けない有様です。
- リモートワークの普及はいい影響だと思う。職種や職場環境によって出来ない人がいるのは当然だが、出来る環境にある人はどんどん取り入れるべき。
- 我が家はあまり影響がなかった。
- 今回のコロナ禍で感染が終わっても、一部生活パターンがそのまま継続するのではと思います。
- 子供が障害を持っており、保健機関や福祉施設に預けるのも躊躇うようになった。妻のストレスが大きく苦勞をかけてきているが和歌山市はイマイチ相談ができるような情報源にアクセスしづらいと感じている。
- 身近に影響があるケースに遭遇していない(子供たちの家庭も大きな変化ないようです)。
- どうしても、配偶者は元々女性が家事をするという考えがあるので、コロナウイルス感染の予防として、長期間会社通勤を自粛している間は、全ての家事が負担になってしんどいと毎日思いました。
- 非常事態宣言中では、特に女性などはパートされている方は雇い止めなどになる方々があるのでは、生活が苦しい方々がおられるのでは。
- 収入の減収について、相談できる窓口がない？困っていることに何でも相談できる窓口を設定してほしい。
- コロナにかかると家庭生活が崩壊するので普段から、夫婦で家事が出来るようにする必要があると思います。
- 働き方や家庭生活にはまったく影響はないですが、コロナのせいで医療従事者さんたちが大変なのは重々わかっています、あえて言わせて頂けるとすれば、テレビや報道等に皆さんあおられ過ぎなどところがあり、もっと一人一人にあった対処の仕方をきちんと学び正しく怖がることを本気で指導していかないと、人生そのものがたち行かなくなると言うことを考えないと行けないと思います。
- お友達とランチやお茶に行きたいが、どこまでの範囲なら社会的に許されるのかわからず、結局、交流は全くのゼロになってしまう。経済を死なせる訳にはいかないので、多少の経済活動をすべきではと思うのだけど。
- 衛生管理レベルが以前より向上したのではないかと思います。現役時代は長距離通勤していましたが、テレワークを今後も組み合わせて時間の有効活用すればいいのではないのでしょうか。
- 和歌山県内での仕事が無く、夫は単身赴任。私は4人の子供の世話、家事をほぼ一人でこなしている。でもこなせていない。自分を責めてしまう。世帯の収入は減っていないが、消費や、病院代がかさむ。こんな時、再度一律給付があればどれだけ助かるかと思う。
- 夫の残業がなくなった上、在宅勤務ができるようになり、夫の在宅時間が増えたことで、子供達にお留守番させることが減り、私の仕事は帰る時間を気にしなくてすむようになりました。
- 幸いにも収入や仕事への影響が無く、意見が思い浮かばないです。
- 今育休中ですがコロナで生活が一変して復職しても仕事より家庭を大切にしたいと思いました。
- コロナによって今まで見過ごされてきた男女の関係、ジェンダーフリーなどが世間の話題になっていることは、ある意味良かったのかと思います。コロナで様々な問題を抱えている人達の相談窓口を和歌山市でも開くべきだと思います。
- 女性の方が家事の負担が大きいと思う。
- 職場で体調が悪いにもかかわらず、PCR検査を受けない人がいます。
- やはりマスクの着用とソーシャルディスタンスが大事で、また手洗いうがいを徹底したらそんなにストレスにはならず、また感染拡大もないのではとまず基本を徹底するのが一番だと思います。
- 夫は仕事が趣味のようなところがあるので、働く日が減ると暇を持て余して苦しんでいます、女性にはいくらでも仕事があります。趣味を楽しむ余裕もあります。私たちはまだまだ現役世代ですが、引退後の生活の予行演習になるのかと思います、今のうちに夫には家事の積極参加・趣味を見つけることをしてもらいたいと思うようになりました。世の中の男性にも言えることではないでしょうか。
- 出かける機会が減り、家で居ることが多くなった。
- 男女に限らず、更に働き方の改革を進めるべきと考えています。
- 夫が家にいるのに家事を分担してくれないと、家にいない時よりも腹が立つ。
- 今回の影響で感じた事は、家庭生活における食生活のあり方が重要であると思っています。手作りを心掛けておりますので、何も困っていない状態です(飲食業の方には申し訳ないですが)。
- 年金生活なので大きく変わったことはないが、長期間なので疲れているように思う。あと、介護施設にいる90才の母に面会が出来ないのがつらいです。ここ1年ほど会っていません。オンラインで会いましたが、母は何のこともやら理解できていないみたいでした。このまま会えずにいるのかと思うとつらいです。せめて、窓越しぐらいで面会できるようにしていただきたいです。現在の状況にあわせて適切な指導をしていただきたいです。少し過剰に思えます。

- 社会が180度転換し、生活が困窮し大変な状況になりました。新型コロナウイルスを数字や状況で考察すると、専門家ではないので何とも言えませんが、治療法など未知ではあるがそんなに怖いイメージではないです。言語で新型だとか未知だとか、そういった情報だけで人は恐怖に支配され、こんなに脆く儂いものなんだと改めて気付くきっかけになりました。
- 年金生活ですのでそれ程日々の生活に変化はありません。只アンケートに特に変化はないと答えたものの、矢張り衛生面に気を付ける分自由さに欠ける、不便、ストレスって思うことはあります。
- コロナに感染したり、濃厚接触者になると仕事を休み、みんなに迷惑をかけてしまうので、感染拡大防止のためにも気をつけて行動したいと思います。
- 子供が休学中は妻が仕事の都合をつけて家事をした。
- 汚物処理に使っていたレジ袋等が有料になったり、除菌アイテムの消耗品購入で家計の出費が確実に増えている。助成がほしい。
- 出掛けることができないので夫婦が一緒にいる時間が多く、一人で何かをやりたいことが出来ない。例えば一人で趣味のことをやりたいときなど。
- 案外、真面目な県民性かなと思った。
- 我々の世代は、家のことは嫁に任せて出ていましたが、今はそうも行かないのでは。家族、家庭のあり方を考えるのにいい機会だと思いますよ。
- 外出規制に伴い、ストレスが溜まります。
- とにかく、男性は消毒の徹底があまりと思う。
- 収入は減っていますが、今の時間の余裕はこれまでになかったことなので新鮮で、その点では良かったと思います。
- 家庭生活は個人個人が責任を持って行動しよう。
- 子育ての辛さや喜びはお手伝い程度では分からないから、夫婦一緒に育児ができることをコロナを機に意識改革をしていくといい。
- 医療従事者、飲食関係に予算が行きがちですが、他業種もかなり悪影響を及ぼしているので万遍なく振り分けるべきだと思います。
- これを機会に、男女の役割を固定する従来からの思想の見直し、或いは、仕事重視から家庭生活重視への転換等を図っていくべきと考えます。
- 在宅勤務になり生活スタイルが変わった事で、健康にも影響しているので、新しい生活の中にも意識して運動など取り入れていかないといけないと思います。
- これまで休日には家族で日帰り温泉に行ったりイベントに行ったりと楽しく過ごしていたが、この1年間行けていない。外食も極力控えているので、専業主婦としては本当に外出する機会がない。近所の方ともマスクをして離れて、極力手短かに会話を済ませるので、本当に家族以外に話す人がいない。1人暮らしの高齢者など特にそうなのではないかと心配になります。
- 仕方がないが子供の学校行事がないのがかわいそう。
- コロナのおかげというか、人との接触も減り、個人的にはとても気が楽になった気がする。人数制限がかけられて事前予約制にするなど、ソーシャルディスタンスも保たれてストレスが一気に減少した。
- 私は仕事に行くのに子供は家にいて心配だった。子供達がずっと家にいて管理できず、ユーチューブなどを見ていたので、少し落ち着いてきて今でもずっと観てしまい、勉強がおろそかになった。
- 問5、6について、どうして夫婦だけに限定するのでしょうか。配偶者がいない人でも、親や子供・友達・親戚らと同居している人もいるでしょうし、そういう人にも家事や育児・介護の役割分担について聞くべきだった。歴史から学べばわかるように、短期的には倒産やリストラ・離婚・自殺響が増えたり景気が悪くなるといったマイナス面がありますが、減税や財政支援など何らかの支援などが実施されるでしょうし、中長期的には会社や東京中心社会が崩壊する(地方や家庭・地域中心社会になる)でしょうし、早くて数年後・遅くとも約10年後にはまた景気が良くなるでしょうからいいことだ、倒産やリストラなどの当事者以外はそう悲願する必要は無いと思います。倒産やリストラなどの当事者は、自力でなんとかなればいいですが、どうしても難しいようでしたら家族や行政・周りの人・団体などに援助・支援してもらいましょう。(家族や行政・周りの人・団体も、積極的に援助したり支援していきましょう。)
- 緊急事態宣言の時子供達は休校になった為、子供の食事、勉強を見たりと母親の仕事が増えた(自分の仕事ができなかった)が、夫は今まで通り仕事に行って帰宅するだけの日々。不公平感があった。また夫が休日の日は、家で過ごす子供達に「ゲームやりすぎ」「散歩に行け」など子供の生活態度に口出しするので、子供達の父親への反発心が高くなった。
- 一人一人が意識を高く持ち、収束に向けて家庭でも社会でも、手を携えていくことが大切だと思います。
- ウイルスという目に見えない敵なので家族それぞれ自分の身は自分で守れ。それだけを今でも言い続けています。
- 家族に濃厚接触者が出た時に、買い物にも出られず困った。
- 子供が保育園や学校に行けなくなって、在宅で子供の面倒を見ながら仕事をしたり、仕事を辞めざるを得ない状況におかれる女性がたくさんいました。男性よりあきらかに女性が影響を受けたと思います。納得がいかなかったな。

お忙しい中、アンケート調査にご協力いただきありがとうございます。

皆さまからいただきました貴重なご意見を参考にさせていただき、本市の男女共同参画に関する施策を推進してまいります。

今後ともご理解とご協力いただきますようお願いいたします。